



横浜町郷土館オープンしました！

郷土館利用案内



開館時間

10時～16時

休館日

月・火曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）、**3月祝日の翌日**、**年末年始**（12/28～1/4）

入館料

無料

※受付後に入館ください。

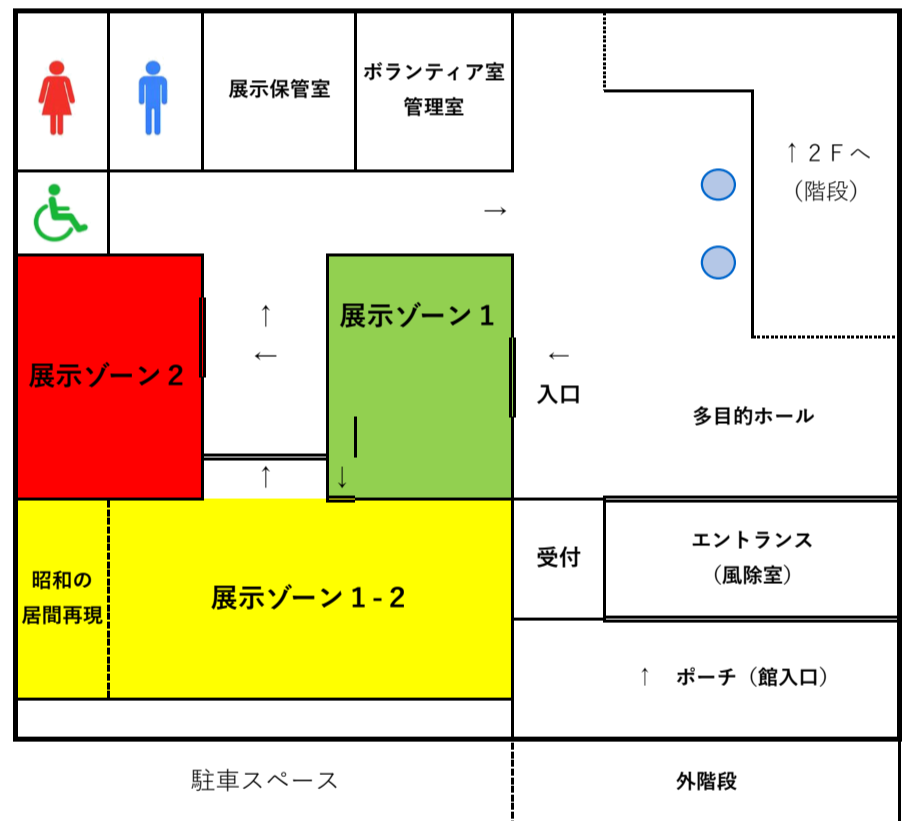
※館内の写真撮影は自由です。



～郷土館設立の経緯～

横浜町は1971年旧はまなす公園内に町立郷土館「潮騒荘」を設立・運用していましたが、老朽化等により2002年に閉館。その後、同様の施設はありませんでした。

しかし、貴重な郷土資料や町の歴史を後世に伝えるための郷土館が必要との気運が高まり、「交流館 どんどりの里」を改修し郷土館として活用することになりました。



【展示ゾーン1】「海のくらし」「山海の恵みと町の繁栄」

古来より、海の恵みと山の恵みにより人々が生活を営み、繁栄につなげてきた横浜。展示ゾーン1では、主に江戸から昭和期まで用いられていた貴重な漁具の一部を、当時の様子を今に伝える写真などをグラフィックで紹介し、横浜の成り立ちについての基本を理解できるよう展示しています。この地域の昔の生活を想像してみましょう。



【展示ゾーン1-2】「里のくらし」「民俗芸能」「町のくらし」「企画展示コーナー」

農業の基盤である稲作・畑作について、かつて作付から収穫・加工まで用いていた道具について実物とグラフィックで紹介し、さらに農耕に欠かせない存在であった馬との関わりや、木材を加工する道具なども取り上げ、展示ゾーン1での横浜のくらしの理解がさらに深まる構成としています。また、生活の中で受け継がれてきた民俗芸能を「タッチ型大型ディスプレイ」で再現、迫力ある形で視聴できます。また、コーナーの一角には、昭和中期の一般家庭の「居間を再現」し、様々な民具や生活用具を展示しています。懐かしさに浸りながら、生活の変遷などを道具を通じて学んでいきましょう。



☆「企画展示コーナー」では、昔の暮らしをさらに深く掘り下げるために集めた道具や収集家のコレクション、写真や絵画展、子どもの作品展示など、年度ごとに楽しめるコーナーとして活用していきます。

【展示ゾーン2】「縄文の祈りと桧木遺跡」

横浜町において、唯一本格的に発掘調査した「桧木遺跡」から出土した縄文時代の遺物を展示しています。町有形文化財指定の「ホオジロザメの歯の有孔装身具」や「獣面突起付土器」の他、県内の縄文遺跡の発掘物と比べても貴重な品々等を展示しています。

